# 年末恒例

# セキュリティ業界2004年検証

セキュリティ産業新聞

発行所
株式会社セキュリティ産業新聞社
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町
1-41-1 三省堂第2ビル5階
電話 03-5282-8882㈹
FAX 03-5282-8992
E-mail:mitu@secu354.co.jp
http://www.secu354.co.jp/

1年とは長くもあり、また短くもあり。あとわずかで申年（さるとし）の幕が閉じようとしている。年初めには願を懸け安全や飛躍を祈ってスタートしたが、今年は水害や地震による大災害をはじめ、事件、事故が次から次へと発生した、悲惨な年といっても過言ではない。こうした中、当社の年末年始の恒例企画特集である、読者・企業などを対象としたアンケートを実施した。セキュリティ業界といえば、防災や防犯関連だけに、取材先や展示会で会う人々からは「時代の風に乗り、業績も相当いいでしょうね」と、的はずれなあいさつを聞く機会は多い。しかし、実態は、はたから見るのとは大きな隔たりがあり、ニーズがあるにはあるが、新規参入組を含めたし烈な競争が展開され、その結果、受注獲得から製品・工事価格は下落の一途と聞く。このことが、今回のアンケートでも読み取れる結果となった。以下は、その項目別アンケート集計結果。メールおよびFAX（一部郵送）で行ったアンケート項目の中、一番注目されるのが各企業の今年の業績。集計したものを業績天気図として置き換えた。

## 53%

## 元気な出入管理 映像監視・情報セキュリティ

### 情報セキュリティ

IT技術が経済の中核産業となった今日、コンピュータをはじめとするIT機器の開発、および市場投入はすさまじく、国内・世界経済にはなくてはならない産業。

一方では情報漏えいやウイルスを使った機能の妨害・破壊する犯罪が世界的に蔓延、便利さを共有した高度技術のもろさを露呈した。

そこで活躍するのが情報セキュリティを扱う企業。多くの最新の対策機器・ソフトを開発・市場投入しており、経済のけん引役にもなっている。

つまり、今や、情報通信機器分野では必要不可欠なツールとなり、そのセキュリティ関連製品を販売する企業業績は概して業績も良いといえる。それは今回のアンケートでも実証されており、晴れと回答したのが58%、曇りが36%。

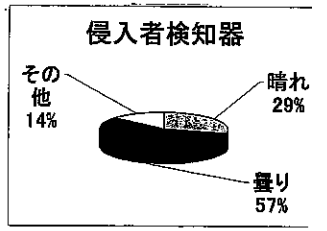
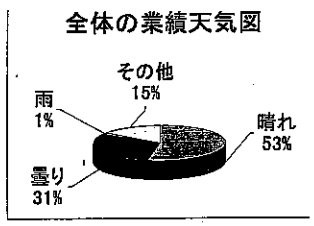
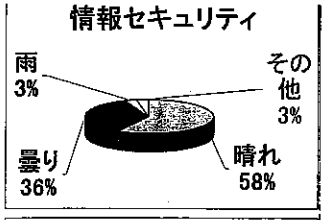
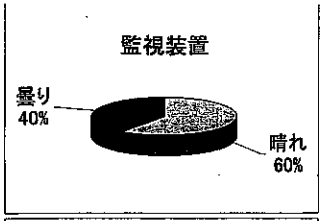
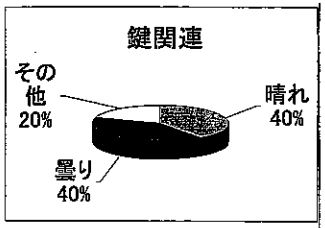
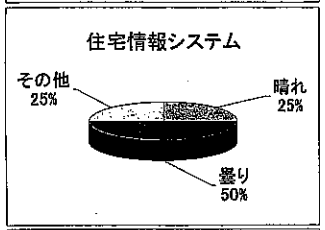
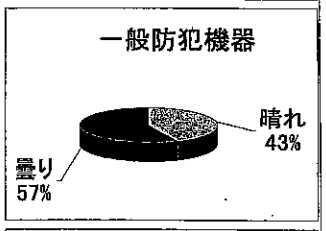
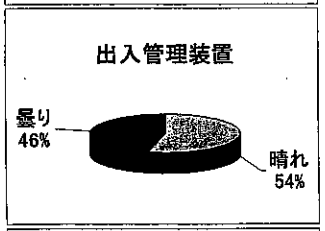
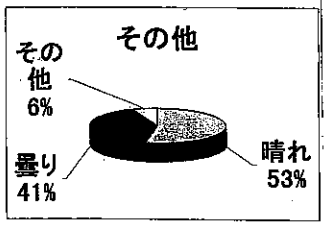
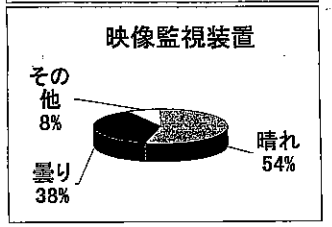
製品技術や販売力が原因なのかは分からないが、曇りと回答した企業が40%近くあったのには驚いた次第。ましてや、雨と回答（その他も）した企業が3%あったのにも唖然とした。とはいえ、判定はもちろん晴れ。

来年4月から本格施行される個人情報保護法案により、わが国もいよいよ本格的な情報セキュリティをまとった通信時代に突入することになる。それだけに販売込み需要もかなりあるはずで、来年も同業界はかなり活況を呈すると予測される。

### 晴れ

**日本情報安全管理協会**

1・H
2・①ヤマトホームコンビニエンス（引っ越し業務）②警、ビルメンテナンス協会とのコラボレートによる商品の開発販売に向けてスタートする。
3・A（業績は上向き、予想通りであった）

1・貴社の業態は（A侵入者検知器、B監視装置、C住宅情報システム、D出入管理装置、E映像監視装置、F一般防犯機器、G鍵関連、H情報セキュリティ、Iその他）
2・貴社のトピックス（内容は自社、業界問わず）
3・今年の業績天気は（回答理由）

## アンケートに見る業績天気図